



はまなす季刊

医療法人はまなすHP ▶▶▶ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック**

〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL (011)776-3030・FAX (011)776-3001

医療法人
はまなす **はまなす医院**

〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL (0133)64-6622・FAX (0133)64-6555

受付が華やかに…

会長宅で開花したバラを使い、トライアングルのデザインでアレンジメントを作りました。

花器はガラス製で、給水スポンジを使用しています。

高さを出すために我が家の庭からスモークツリーとラズベリーを加え、メインになる花材にはバラをふんだんに取り入れました。

またアルケミラモーリスとコニファーを短めに挿し、ラベンダー、ブルーベリー、アイビーの葉を用いて給水スポンジを隠して空間を埋めました。

今回は受付カウンターに置くことを考慮して、どの角度から見ても綺麗に見えるように、オールラウンドの形を取り入れています。

多彩な香りに包まれて、来院された方々からおほめの言葉を頂戴しました。次回は別な雰囲気のものを作りたいと思っています。

(はまなす医院 Y. S)



花火

理事長 工藤 岳秋

夏の夜空を彩る花火が今年も賑やかに打ち上げられています。最近ではコンピュータ制御による照明・音楽との組み合わせもピピュラーになつてきました。札幌でも真駒内、豊平川、モエレ沼公園などでそれぞれ演出の異なるイベントが行われます。

夜空の花の一輪二輪は、花火師の地道な作業の結晶です。打ち上げた直後から次の企画の打ち合わせ、営業活動などを行いつつ、乾燥した冬場はピッチを上げて部品を作製します。仕込みは四季を通じて続きます。

篠路はまなすクリニックは約1年の準備期間を経て、装いを新たにこの4月を迎えました。当初は検査・治療のためにはまなす医院からおいでになる患者さんが主でしたが、少しずつ地元の方にも足を運んでいただけになるようになってきました。設備に頼りすぎることなく知識と技術の吸収に努力を傾け、時間をかけた丁寧な診療を心がけたいと思います。

初年度の打ち上げのみで終わることなく、毎年安定して花を咲かせていけるよう努力を続けたいものです。

5か月を振り返って。

副理事長 はまなす医院院長 **工藤 立史**



私のはまなす医院に来てから5か月が経ちました。4、5月にかけて立て続けに透析患者さんの紹介を受け、石狩の施設だけで4名増えております。全国的には透析患者数の停滞がみられますが、一方で毎年3万8千人が新規に透析を開始しております。透析を必要とする患者さんは今後も途絶えることがないと考えられ、石狩地区において当院が地域医療のために大切な役割を果たしていることを実感しております。

また、石狩、篠路の両施設で腎臓内科の診療を始めたことで透析のみならず保存期腎不全の患者さんも近隣の医療機関より多数紹介されていきます。腎臓内科医の使命としては、透析に至る人を一人でも少なくすることですが、やむを得ず腎不全が進行してしまった場合は透析や腎移植といった「腎代替療法」を考えていかななくてはなりません。透析予備軍としてますます多くの患

者さんが控えており、現在のベッド数では賅いきれないことが予想されます。今後は石狩の施設を増築し、透析ベッドを増床する予定です。一方で、篠路はまなすクリニックでは、血液透析に加えて腹膜透析を開始しました。統計的には腹膜透析は全透析患者さんの3%程度の普及率にとどまっていますが、適応になるケースは意外に多く、私が担当する腎外来(週3回、火・金・土)では腹膜透析を必ず紹介することにしております。現在は1名のみですが、近々新規導入を予定している方もいらつしやいます。患者さんの状態に合わせて、適切な透析方法を選択したいと考えております。

診療体制としては、両施設とも改善する余地があり、内科分野を中心に地域の患者さんのニーズに応えていこうと思えます。石狩、篠路、それぞれ規模に合わせてますます診療を充実させていくようにがんばってまいります。



講演会

7月14日、北区在宅ケア連絡会主催の講演会が札幌サンプラザで行われました。

当日は、医療法人はまなす工藤立史副理事長による「透析、腎臓疾患について」と題して約130名の参加者があり、熱心に聞き入っていました。

透析療法従事職員研修

7月18日、19日の二日間、埼玉県さいたま市の大宮ソニックシティにおきまして日本腎臓財団主催の透析療法従事職員研修に、当法人のスタッフ3名(看護師1名、臨床工学技士2名)が参加いたしました。この研修では透析療法の基礎、栄養管理と水分管理、各種データの意味とそれに対応した治療法の選択等について多く学び、また復習することが出来ました。

この研修で学んだことを還元していくことでより良い透析を提供し、生活の質(QOL)の向上を図っていききたいと思います。

年内にはこの研修に加え他の病院での実習が控えております。透析療法に対するアプローチの違いや、医療機器・設備の違いなどから新たな発見・経験を通し今回の研修をさらに有意義なものにしていくよう努力していききたいと思います。

(臨床工学技士 山本陽二)





●ナースステーション

看護師や看護助手が患者様のカンファレンスを行ったり、注射や点滴の準備、記録を書いたり事務作業を行えるスペースもあります。



●ステーション内のテーブル

真ん中に設置されており、左右どちらからも出入りできるようになっています。今まで以上に患者様のベッドサイドに足を運べる作りになっています。



ナースコールと PHS が連動していて、素早く対応できる様になりました!!

病棟紹介



●浴室

浴室も広く、明るいです。車イスや寝たきりの患者様もシャワー浴ができる様になりました!!



●食堂

スペースを広く取っているので歩行器や車イスの患者様もそのまま利用できます。テレビもあって、食事の時間以外にも新聞や雑誌を読める場所になっています。

●病室

窓が大きく光が入る様になっています。大部屋で4人。2人部屋と個室もあります。手術後の回復室もあります。



全体的に空間が大きく、死角がないのも大きな特徴です。

スタッフは、患者様の転倒・転落防止や患者様とのコミュニケーションの為、お部屋に足を運ばせてもらい、日々業務をこなしています。その中で、スタッフ一同入院された患者様がゆっくり療養でき、充実した入院生活を送れる様にお手伝いさせて頂いています。 (樋口さやか)





ピンクをベースに統一されたお庭は、見事に手入れされていて、一輪咲きの「芍薬」のような大きさのバラや二階まで勢いよく伸びている「つるバラ」、クラシカルな色合いの気品溢れる「ス

プレーバラ」など、溜息が出るほどの花々が優雅にそして競い合うように咲き誇り「癒しとパワー」をもらいました。

炭火で焼いたお肉、厚岸産の特大サイズの牡蠣など、バラや宿根草（ラベンダー、アルケミラモリス等）、個性豊かな花に囲まれて飲むビールは、最高でした。

(坂本維子)



花とビールとお肉と…

6月25日(木) 恒例の「ローズガーデンパーティ」が工藤謙三会長宅にて行われました。総勢 30 名のスタッフが参加しました。



納涼会

今年もサッポロビール園にて納涼会を行いました！
家族連れで来たスタッフもあり、とても賑わいました！





魅惑のローズガーデン…

今シーズンの花々のご紹介をします

花壇に今年もたくさんさんのバラが咲き誇りました。篠路の庭では旧棟の南ウォールを覆って芳香に包まれました。新築棟の前庭には新しく花壇が作られ、中央に20本ほどのバラの苗が植え込まれました。会長宅の庭と合わせると130種類になるそうです。数年後には、はまなすクリニックスの庭に洗練されたバラ園の景観がみられるでしょう。

(花のともい。S)



庶務係の仕事

— 篠路設備：問題と解決 —



自家発電装置

4月に増築した篠路はまなすクリニックの増築棟には災害設備を備えており、今回はその中でも重要な『非常用自家発電装置』について説明させていただきます。



無停電電源装置 (UPS)

当院の自家発電装置は屋上に設置されており、地震や洪水、落雷などの原因により停電が発生した場合、無停電電源装置(UPS)内の蓄電池に蓄えられた電力により非常用回路を通じて電力は供給され続けます。その間に自動で作動を開始して作られた電力が非常用回路に供給されます。この流れによって手術中の停電に際しても安心です。その他にも非常用電源(赤色のコンセント差し込み)が病棟の各部屋に完備されており停電時でも電力を必要とする医療機器を使用することができます。このような設備は当院の信頼の基幹をなすものと自負しています。

(高木一哉)

新しい気持ちで

篠路の新棟が稼働して5カ月を経過し、やっと全体の流れがスムーズになってきました。ここで昨年の設計段階からの1年を振り返って感じたことを述べたいと思います。

設計に加わってみるとなかなか図面の上だけでは実感がわいてきませんでした。(実際の所私は既存の透析室の受け持ちなので傍観していただけではあったのですが...) 4月1日に新棟を使い始めてみると、その日を境に不便なことや問題点が次からつぎへと出てきてその度に各部署の責任者と協議する毎日でした。慣れないセキュリティに右往左往し、新棟に設けられた新しい更衣室ははるかに遠くなり(後日元通りになりました)食事も時間通りに提供されることがあるなど患者さんにもご迷惑をおかけしました。

しかしながら、そんな都合なことを乗り越えて、新しく病棟や外来、CTなどのX線施設が出来たことで、同一施設内ですべて賄えるよう

看護師長
吉田 薫

になったことは大きな喜びでした。患者さん入院が必要な場合即日対応ができるようになって、サテライト・クリニックとして9年間不自由でご不便をおかけし申し訳なく思っていたことから解放されました。

透析室内にはそれまで入院患者さんがいませんでしたから、戸惑いもありました。従来の患者さんに不安な思いをおかけし、御迷惑だったことと思えます。そのため急遽新館に3ベッドの透析室を開設して改善を図りました。

今後もなにかと問題は出てくると思いますが、その度にそれを乗り越えてよりよい施設になるよう、新しくなった建物に負けない新たな気持ちで頑張ります。多くの方々に、「はまなす」に来て良かった、と思っただけのようでありたいと思っています。



透析食・人気メニュー紹介

メニュー

- 米飯
- ほっけのムニエル
- じゃがいもの洋風煮
- フルーツ(缶詰のみかん)

栄養価	
エネルギー	661kcal
たんぱく質	19.8g
脂質	19.6g
炭水化物	97.2g
カリウム	588mg
リン	278mg
食塩	1.9g



け合わせの野菜にマヨネーズを添えて212kcal摂れるメニューへとなっています。副菜のじゃがいもの洋風煮は肉じゃがを洋風にアレンジした料理です。じゃがいもはカリウム値が高いので摂る量に要注意です。一日当たり中くらいのもので1〜2個が目安です。

(管理栄養士 中山絵里奈)

透析の患者様にとってエネルギー不足は体重減少や体力の低下、栄養不足の原因になります。必要なエネルギー摂取のために調理法の工夫によるエネルギーアップが重要です。そこでほっけを塩焼きにするだけでなくムニエルにすることで97kcal→134kcalに変化させ、

●ほっけのムニエル (1人分)

材料	分量	【付け合わせ】	分量
ほっけ	60g	レタス	1枚
塩コショウ	適量	ミックスベジタブル	15g
小麦粉	5g	マヨネーズ	10g
無塩バター	3g		
油	3g		

作り方

- ①ほっけを三枚におろし、骨は捨てます。おろしたほっけに塩コショウをふり、小麦粉をまぶします。
- ②フライパンに油を少し多めにひき、ほっけを並べて魚に火が通ったらバターを入れて風味を付けます。
- ③色づいたら皿に取りだしてレタス、ゆでたミックスベジタブルを乗せてマヨネーズを添えたら完成です。

●じゃがいもの洋風煮 (1人分)

材料	分量	【調味料】	分量
じゃがいも	45g	鶏ガラスープ	1.5g
にんじん	15g	しょうゆ	1g
たまねぎ	20g	みりん	2g
ベーコン	8g	塩	0.1g
グリーンピース	3g	コショウ	適量

作り方

- ①じゃがいも、にんじん、たまねぎは中に火が通るまで下ゆでしておきます。(カリウムを除去するため)この茹で水は使用せずに捨てます。グリーンピースもこの時に茹でておきます。
- ②ベーコンを鍋で炒め、火が通ったら調味料と水を入れ煮ます。煮たってきたら先ほど茹でた野菜を入れて少し煮込みます。
- ③水気をなるべく入れないようにお皿に盛りつけ、グリーンピースを乗せたら完成です。

●フルーツ みかんの缶詰をお皿に乗せて完成です。

ハチに刺された場合の応急処置

(田宮真奈美)

1

刺されたら、落ち着いてその場からすぐ離れる。

2

蜂針が残っている場合は、つまんで抜く。(ピンセット等使うと良い)

3

傷口を流水で流す。(蜂毒は水に溶けやすい)

4

抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏等を貼付する。

5

濡れたタオル等で冷やし安静にする。

6

20〜30分様子を見る。少しでもショックの兆候が出たら、直ちに医療機関を受診する。



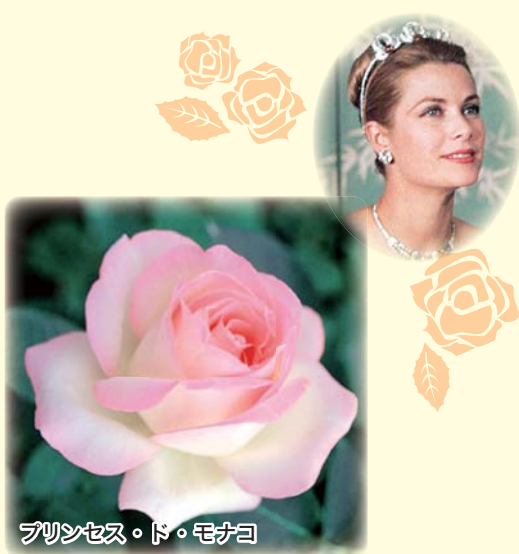
バラの名前

バラに凝り始めて9年ほどになる。私を夢中にさせたきっかけは一本のツルバラだった。始めそれは片手に乗るほどの小さな植木鉢に入っていた。濃いローズピンクの、直径3センチほどの八重の花が20輪ほどアーチに絡まって行儀よく並んで咲いていて、いかにも可憐だった。その後いくばくもなく花は散ってしまい、庭の一隅に無造作に植えこまれていた。ところが1年たつて初夏を迎えるころ、すっかり忘れ去られていたそのバラが大きく延びて変身を遂げ、たくさんの花をつけたのである。それからというものすっかりバラにはまってコレクシオンは今100種類を超えている。シーズン中はそれらの世話に明け暮れ、まるで花の奴隷のような毎日を送るようになった。



プリンセス・ミチコ

バラはおおよそ5万種あると言われ、驚くべきことにそれらすべてに名前がついている。そんな中に皇室にちなんだものがいくつもある。プリンセス・ド・モナコは、ピンクと白の覆輪の美花で、映画スターからモナコの王妃になったグレースケリーにちなんでいる。半八重の輝くようなオレンジ色のプリンセス・ミチコは今年も私の庭で花をたくさん咲かせてくれた。これは1967年、イギリスの育種家によって当時皇太子妃だった美智子妃殿下に捧げられたものである。そのほか、クイーン・オブ・スエーデン、ラ・レーヌ・ヴィクトリア、クイーン・エリザベスなどいずれも誉れ高いピンク色の名花である。



プリンセス・ド・モナコ

ちなみに最初に私を夢中にしたツルバラは、キングという名であることがあとでわかった。プリンセスとキング。やんごとなきあたりに病気やアブラムシがつくなどもつてのほか、ひたすらかしくずくようにお世話もうしあげている。



キング・ローズ

編集後記

篠路はまなすクリニック増築棟が完成して早くも5ヶ月になろうとしています。花壇に咲き誇っていた薔薇も夏のピークを過ぎて秋への移り変わりが感じられます。薔薇は多くの映画のタイトルに使われていますが、中でも『薔薇の名前』

(Le Nom de la Rose 1986年 仏・伊・独合作、ショーン・コネリー主演)は私の大好きな作品です。拙稿を書くうちに再び鑑賞したい気分になりました。(T.S)